

# 消化器外科

## 【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事し、責任感、職業的な技能、思考法、態度を学ぶ
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびスタッフと良好な対人関係を築くことを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、実践的な知識を身につけることを目指す。
- 4) 診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に接するなかで、将来の医師像を具体的に構築することを目指す。

## 【到達目標（行動目標）】

- 1) 手術の流れを把握し、術者と助手の役割について理解し説明できる。
- 2) 消化器外科領域における周術期全身管理に必要な知識（輸液、輸血、抗菌療法、抗凝固療法、ドレーン管理など）を理解し問題点を説明できる。
- 3) 外科的処置に必要な知識と手技（清潔操作、ガウンテクニック、医療廃棄物の処理）を理解し実践できる。
- 4) 外科基本手技（糸結び、皮膚の縫合、創傷処置、抜糸など）を理解し実践できる。
- 5) OSCE で習得した診察法を適切に実施し、腹部所見（急性腹症の診断、腹膜刺激症状の所見の有無など）を正確に診断、記録と報告ができる。
- 6) 消化器外科領域で用いられる血液検査および画像診断（GIF, CF, 腹部 CT、腹部 US など）について、概要、有用性、限界、危険性を説明し結果を解釈できる。
- 7) 消化器外科領域における主要疾患（胃癌、大腸癌、肝細胞癌、胆道癌、膵臓癌など）について、症候、病態、診断、外科的治療、術後の合併症を説明できる。
- 8) 診療に必要な最新の知識・情報を検索し、EBM に沿った治療を理解できる。
- 9) 術前検査、手術に必要な情報を収集し、コミュニケーションを通じて患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 10) 術前、術後の患者情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成し、問題点を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。

## 【注意事項】

- 1) 集合時間：月曜日 午前9時00分（時間厳守）  
正面玄関総合受付（総合受付の人に申し出てください）  
遅刻・欠席等の連絡先：  
呉医療センター・中国がんセンター TEL：0823-22-3111  
または 外科科長 田代 裕尊
- 2) 持参品：白衣、名札、筆記用具、滞在に必要な洗面道具や衣服など。  
端正な服装を心がけること（背広、ネクタイは不要）。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 3) 宿泊希望の学生は、病院敷地内の宿舎施設を使用できます。  
宿舎には、テレビ・冷蔵庫・エアコン・電子レンジ・ポット、ユニットバス、タオル、洗面用具、洗濯機（共用）がありますが、浴衣・歯ブラシ・ドライヤーはありません
- 4) 交通手段：公共交通手段を推奨します。  
高速バス：「大学病院南門」（7:50 発）→「四つ道路」（8:25 着）で降り徒歩 10 分。  
JR 呉線：広島駅（7:37 発）→呉駅（8:29 着）、呉駅→当院は無料送迎バス（8:30 発）
- 5) 患者や他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者と接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 6) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者のプライバシー保護に気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。

## 【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行い、ポートフォリオを配布するので、実習中に学んだこと体験したことを記入すること。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 火、水曜日に術前症例カンファレンスがあるので、指導医の指定した症例について、主治医の代わりに症例提示を行うこと。また、金曜日の総回診の際には、患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に提示すること。

【当院の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	カンファレンス、抄読会 病棟研修、手術	－ 指導医	外科カンファレンスルーム 病棟、手術室	7:30～ 8:30～
火	術前カンファレンス 病理検討、病棟研修、手術	－ 指導医	外科カンファレンスルーム 病棟、手術	7:30～ 8:30～
水	術前カンファレンス 病理検討、病棟研修、手術	－ 指導医	外科カンファレンスルーム 病棟、手術	7:30～ 8:30～
木	カンファレンス 病棟研修、手術	－ 指導医	外科カンファレンスルーム 病棟、手術	7:30～ 8:30～
金	リサーチカンファレンス 総回診、病棟研修、手術	－ 科長、指導医	外科カンファレンスルーム 病棟、手術	7:30～ 8:30～

\* 希望に応じて外来研修、緊急手術対応も可能

【評価】

10項目の到達目標について、指導医による総合評価を行う。

評価項目	配点
手術の流れを把握し、術者と助手の役割について理解	10
周術期全身管理に必要な知識を理解	10
外科的処置（清潔操作、ガウンテクニック）に必要な知識と手技	10
外科基本手技（糸結び、皮膚縫合など）の理解と実践	10
理学的所見（腹部所見）の診断と報告	10
担当した主要疾患に関係する血液検査、画像診断の理解	10
担当した主要疾患の症候、病態、診断、外科治療、術後合併症の理解	10
担当した主要疾患のガイドライン、EBMの理解	10
患者、家族とのコミュニケーション力	10
プレゼンテーション能力	10

## 【参考図書、文献】

(上部消化管)

1) 胃癌治療ガイドライン : <http://www.jgca.jp/guideline/>

(下部消化管)

1) 大腸癌治療ガイドライン : [www.jscrc.jp/guideline/2016/index\\_guide.html](http://www.jscrc.jp/guideline/2016/index_guide.html)

(肝胆膵)

1) 肝がん診療ガイドライン : <http://jsco-cpg.jp/item/02/index.html>

2) 胆道がん診療ガイドライン : <http://jsco-cpg.jp/item/14/index.html>

3) 膵がん診療ガイドライン : <http://jsco-cpg.jp/item/11/index.html>

(鼠径ヘルニア)

1) 鼠径部ヘルニア診療ガイドライン :

[jhs.mas-sys.com/pdf/sokeibuhernia\\_guideline2015.pdf](http://jhs.mas-sys.com/pdf/sokeibuhernia_guideline2015.pdf)

(胆嚢炎)

2) 急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン :

<https://minds.jcqhc.or.jp/n/med/4/med0020/G0000565>

## 【実習指導医】

田代 裕尊 科 長

清水 洋祐 医 長

首藤 毅 医 長

石山 宏平 医 長

尾上 隆司 医 長

鈴木 崇久 医 長

清水 亘 医 長

田澤 宏文 医 師

羽田野直人 医 師

## 【参考図書、文献】

(上部消化管)

1) 胃癌治療ガイドライン : <http://www.jgca.jp/guideline/>

(下部消化管)

1) 大腸癌治療ガイドライン : [www.jscrc.jp/guideline/2016/index\\_guide.html](http://www.jscrc.jp/guideline/2016/index_guide.html)

(肝胆膵)

1) 肝がん診療ガイドライン : <http://jsco-cpg.jp/item/02/index.html>

2) 胆道がん診療ガイドライン : <http://jsco-cpg.jp/item/14/index.html>

3) 膵がん診療ガイドライン : <http://jsco-cpg.jp/item/11/index.html>

(鼠径ヘルニア)

1) 鼠径部ヘルニア診療ガイドライン :

[jhs.mas-sys.com/pdf/sokeibuhernia\\_guideline2015.pdf](http://jhs.mas-sys.com/pdf/sokeibuhernia_guideline2015.pdf)

(胆嚢炎)

2) 急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン :

<https://minds.jcqhc.or.jp/n/med/4/med0020/G0000565>

## 【実習指導医】

田代 裕尊 科 長

清水 洋祐 医 長

首藤 毅 医 長

石山 宏平 医 長

尾上 隆司 医 長

鈴木 崇久 医 長

清水 亘 医 長

田澤 宏文 医 師

羽田野直人 医 師